

スコアシート			重点評価項目：W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質・性能									3.3	
Q-1 室内環境							0.40		3.6	
1 音環境						3.8	0.15	4.0	1.00	3.9
1.1 騒音						3.0	0.40	3.0	0.29	
1 暗騒音レベル						3.0	1.00	3.0	1.00	
2 設備騒音対策										
1.2 遮音						5.0	0.40	5.0	0.30	
1 開口部遮音性能					T-2相当の建具を採用している。 D-60以上の遮音性能を有している。 LL-40の床材を採用している。 LL-40の床材を採用している。	5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能							5.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							5.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							5.0	0.20		
1.3 吸音						3.0	0.20	3.0	0.21	
2 温熱環境						3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御						3.0	1.00	3.0	1.00	
1 室温設定										
2 負荷変動・過渡制御性				W						
3 外皮性能						3.0	1.00	3.0	1.00	
4 ゾーン別制御性										
5 湿度・湿度制御										
6 個別制御										
7 時間外空調に対する配慮										
8 監視システム										
2.2 湿度制御										
2.3 空調方式										
3 光・視環境						3.3	0.25	3.3	1.00	3.3
3.1 昼光利用						4.2	0.30	4.0	0.30	
1 昼光率						5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口								3.0	0.30	
3 昼光利用設備				W		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	3.0	0.30	
1 照明器具のグレア										
2 昼光制御				W		3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.15	
1 照度						3.0	1.00	3.0	1.00	
2 照度均斉度										
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境						4.6	0.25	4.6	1.00	4.6
4.1 発生源対策						5.0	0.60	5.0	0.63	
1 化学物質汚染						5.0	1.00	5.0	1.00	
2 気体・臭気対策										
3 ダム・カビ等										
4 レジダント対策										
4.2 換気						4.0	0.40	4.0	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能								4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						5.0	0.50	5.0	0.33	
4 給気計画										
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視										
2 喫煙の制御										
Q-2 サービス性能							0.30			3.6
1 機能性						3.8	0.40	4.2	1.00	4.1
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.60	4.0	0.60	
1 広さ・収納性										
2 高度情報通信設備対応								4.0	1.00	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性						5.0	0.40	4.5	0.40	
1 広さ感・景観								4.0	0.50	
2 リフレッシュスペース										
3 内装計画						5.0	1.00	5.0	0.50	
2 耐用性・信頼性						3.4	0.31			3.4
2.1 耐震・免震						3.0	0.48			
1 耐震性						3.0	0.80			
2 免震・制振性能						3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数						4.0	0.33			
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔				W		4.0	0.29			
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				W		4.0	0.12			
3 配管・配線材の更新必要間隔				W		4.0	0.29			
4 主要設備機器の更新必要間隔				W		4.0	0.29			
2.3 適切な更新										
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新										
2 配管・配線材の更新										
3 主要設備機器の更新										
2.4 信頼性						3.4	0.19			
1 空調・換気設備						3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備						4.0	0.20			
3 電気設備						3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20			
5 通信・情報設備						4.0	0.20			

スコアシート				重点評価項目：W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理						
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
3 対応性・更新性					3.4	0.29	3.3	1.00	3.3	
3.1 空間のゆとり					-	-	3.6	0.50		
1 階高のゆとり				階高2960mm以上。	-	-	4.0	0.60		
2 空間の形状・自由さ					-	-	3.0	0.40		
3.2 荷重のゆとり					-	-	3.0	0.50		
3.3 設備の更新性					3.4	1.00	-	-		
1 空調配管の更新性					3.0	0.17	-	-		
2 給排水管の更新性					3.0	0.17	-	-		
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-		
4 通信配線の更新性				将来に備えて交換が容易な配線としている。	5.0	0.11	-	-		
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-		
6 バックアップスペースの確保				十分なバックアップ設備の設備スペースがある。	4.0	0.22	-	-		
Q-3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.6	
1 生物環境の保全と創出		G			2.0	0.40	-	-	2.0	
2 まちなみ・景観への配慮		G			3.0	0.20	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.40	-	-	3.0	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		3.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			3.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性									3.6	
LR-1 エネルギー					-	0.40	-	-	4.4	
1 建物の熱負荷抑制	W			日本住宅性能表示基準の省エネルギー等級4を満たしている。	5.0	0.40	-	-	5.0	
2 自然エネルギー利用				屋上に太陽光パネルを最大限で敷設している。	3.0	0.20	-	-	3.0	
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				3.0	0.50	-	-		
2.2 自然エネルギーの変換利用	W		S	太陽光パネルを設置して共用部分の照明を照らしている。	3.0	0.50	-	-		
3 設備システムの高効率化	W			省エネルギー法に基づく断熱材の採用。	4.7	0.40	-	-	4.7	
4 効率的運用					-	-	-	-	-	
4.1 モニタリング	W				-	-	-	-	-	
4.2 運用管理体制	W				-	-	-	-	-	
LR-2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.4	
1 水資源保護					3.0	0.15	-	-	3.0	
1.1 節水	W				3.0	0.60	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-		
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-		
2 低環境負荷材					3.4	0.85	-	-	3.4	
2.1 資源の再利用効率					3.6	0.35	-	-		
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-		
2 非構造材料の再利用効率	W			再生建設資材の積極的な採用をしている。	5.0	0.33	-	-		
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				3.0	0.04	-	-		
2.3 有害物質を含まない材料					3.0	0.08	-	-		
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				3.0	0.18	-	-		
2.5 部材の再利用可能性	W			乾式間仕切・断熱材のウレタン吹付等、分別が比較的容易である。	4.0	0.18	-	-		
2.6 フロン・ハロンの回避					3.3	0.18	-	-		
1 消火剤	W			ハロン消火剤を一切使用していない。	4.0	0.33	-	-		
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-		
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-		
LR-3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.8	
1 大気汚染防止	W				3.0	0.10	-	-	3.0	
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.05	-	-	3.0	
2.1 騒音					3.0	1.00	-	-		
2.2 振動					-	-	-	-		
2.3 悪臭					-	-	-	-		
3 風害、日照阻害の抑制					1.6	0.10	-	-	1.6	
3.1 風害の抑制					1.0	0.70	-	-		
3.2 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	-		
4 光害の抑制					3.0	0.05	-	-	3.0	
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		2.0	0.30	-	-	2.0	
6 地域インフラへの負荷抑制					3.6	0.40	-	-	3.6	
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-		
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-		
6.3 交通負荷抑制				十分な駐車スペースを確保している。	4.0	0.30	-	-		
6.4 廃棄物処理負荷	W		S	ディスポーザー排水処理システム採用による生ごみの減量。	4.0	0.30	-	-		

■ LR-1 用途別得点表		集合住宅	—	—	—	面積按分 総合スコア
1 建物の熱負荷抑制		3.995 m2	—	—	—	5.0
3 設備システムの ERRIによる評価		—	—	—	—	4.7
高効率化 個別設備による評価		4.7	—	—	—	
3.1 空調設備		—	—	—	—	—
3.2 換気設備		—	—	—	—	—
3.3 照明設備		8.0	—	—	—	—
3.4 給湯設備		—	—	—	—	—
3.5 昇降機設備		3.0	—	—	—	—